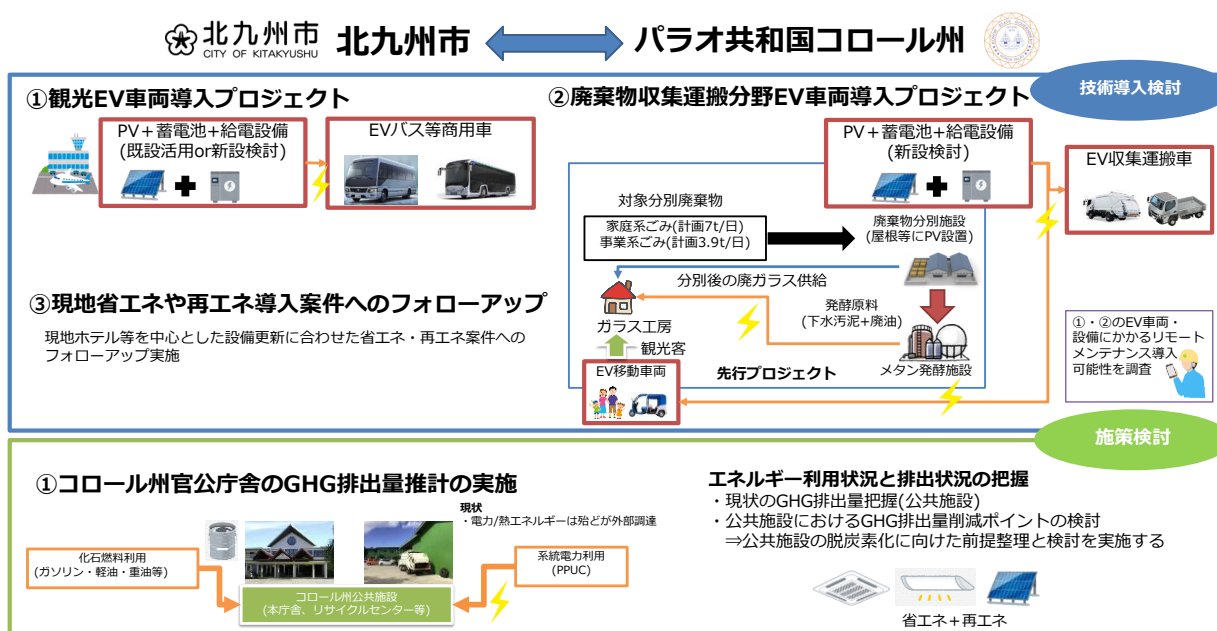


パラオ共和国コロール州の脱炭素とコ・ベネフィットの促進を図る技術導入 および施策の構築支援業務

- 1 実施者 : 北九州市
 (株)EV モーターズ・ジャパン
 アミタ(株)
 (株)クアンド
 (株)ATGREEN

2 事業概要

パラオ共和国コロール州との都市間連携事業のもと、再エネ導入を促進する方策として、太陽光発電を活用した EV 車両を導入させることで化石燃料使用量を抑制した輸送モデルの事業実現可能調査・検討と併せて、過去調査にて確認された JCM 設備補助事業に繋がる省エネ・再エネ設備導入ニーズのフォローアップを行う。また、コロール州の官公庁舎における温室効果ガス排出量調査を実施し、脱炭素化へ向けた施策の検討・支援を行う。



3 パラオ共和国コロール州について



【パラオ共和国】

- ・首都：マルキョク（2006年コロールから遷都）
- ・人口：18,092人（2020年、世界銀行調べ）
- ・面積：488km²
- ・観光立国であり、2015年には観光客総数が161,931人に達した。（内、日本人観光客数は31,016人。）

【コロール州】

- ・総人口の7割が居住する経済、文化の中心